

## ロシア経済状況

ロシア経済発展省が7～9月のGDP成長率を公表した。2013年に入ってから四半期の前年同期比の伸び率は3期連続して1%台であり、成長率は減速しているが、欧州地域の経済低迷による石油輸出の減少や固定資産投資の減少がその主な要因と考えられる。

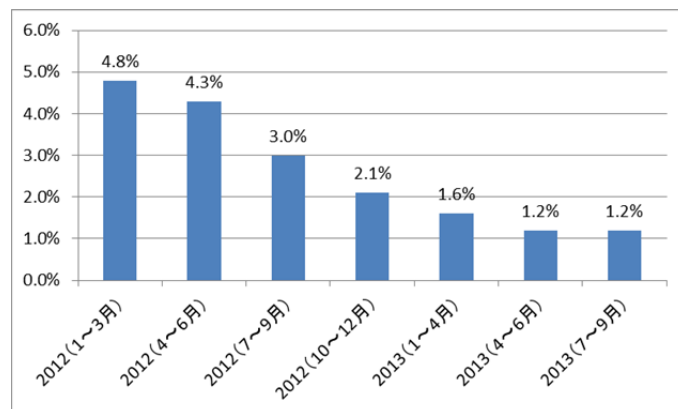
ロシア経済や国家歳入の天然資源輸出に対する依存度は非常に高く、安定した経済成長のためには産業の多様化推進が重要であることが改めて認識させられる。

### 1. GDP 成長率

ロシア経済発展省に拠れば、7～9月のGDPの実質伸び率は、前年同期比1.2%であった。2013年度各四半期の前年同期比の伸び率は下に示すように、3期連続1%台で推移し伸び率が鈍化している。

なお、IMFは、10月に公表した報告書<sup>1</sup>の中で、ロシアの2013年度通年のGDP成長率を1.5%と、2012年度の3.4%よりも2%近く低い水準になるものと予想している。

図表1：ロシアのGDP実質伸び率



\* 資料：ロシア経済発展省などのデータを基にCIPPSで作成

### 2. 主要経済指標

2013年1月～9月の主要経済指標の前年同期比の状況は下に示すとおりである。この中でも特に輸出の低迷と固定資産投資の減少が、GDP成長率鈍化の主な要因と考えられる。

輸出の低迷の主要因は、後述のように石油輸出の伸び悩みである。2013年半期ベースでは、前年同期比輸出量および単価の両方の数値が落ち込んでいる。一方、固定資産投資の

<sup>1</sup> IMF Country Report No.13/310 October 2013

減少については、ソチの冬季オリンピック関連整備やノーザンストリームパイプラインなどの大型インフラ事業がほぼ完成したことが主な要因と考えられる。

図表 2：主要経済指標の状況（2013年1～9月 前年同期比）

	前年同期比(%)
輸出額	98.7
鉱工業生産指標	100.1
農業生産指標	101.8
固定資産投資	98.6
小売売上高	103.8
消費者物価指数	106.9

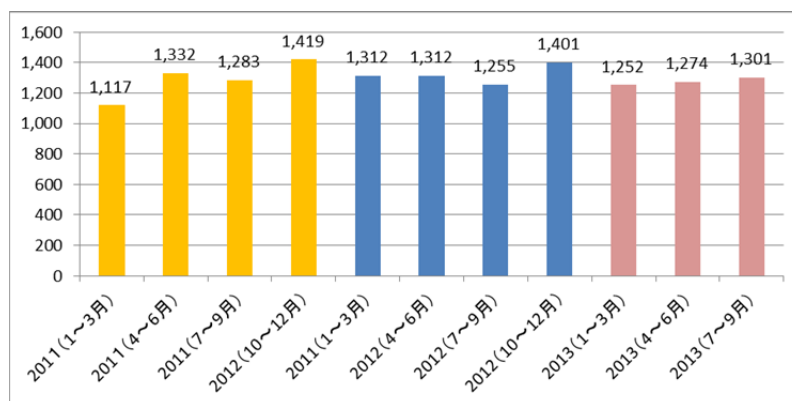
\* 資料：ロシア連邦中央銀行

### 3. 輸出の状況

#### (1) 輸出額の推移

2012年1月～9月のロシアの四半期ごとの輸出額推移は以下のとおりである。1～9月の通期では、前年比－1.3%減少している。

図表 3：ロシアの輸出額の推移（単位：億ドル）



\* 資料：ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成

図表 4：ロシアの輸出額の推移（単位：億ドル）

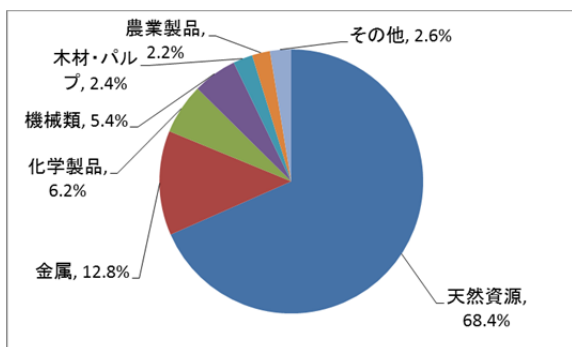
	実績(億ドル)	前年比(%)
2011年1～9月	3,732	-
2012年1～9月	3,879	104.0
2013年1～9月	3,827	98.7

\* 資料：ロシア連邦中央銀行

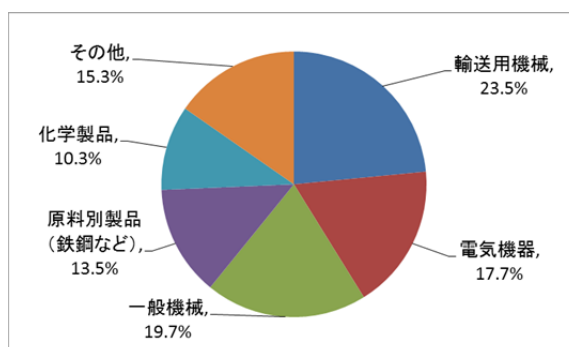
#### (2) 輸出の内訳

少し古いデータであるが、以下が2010年の輸出内訳である。原油や天然ガスを中心とした天然資源輸出が7割近くを占め、次に金属が約1割を占めている。化学製品や機械などの工業製品は合計しても約1割であり、ロシアは、天然資源の輸出に大きく依存している。参考に我が国の輸出内訳を示すので比較して頂きたい。

図表 5 : ロシア輸出内訳 (2010 年金額ベース) 図表 6 : <ご参考> 日本輸出内訳 (2010 年金額ベース)



\* 資料 : ロシア連邦統計局データベースのデータを基に CIPPS で作成



\* 資料 : 財務省貿易統計のデータを基に CIPPS で作成

### (3) 原油輸出の推移

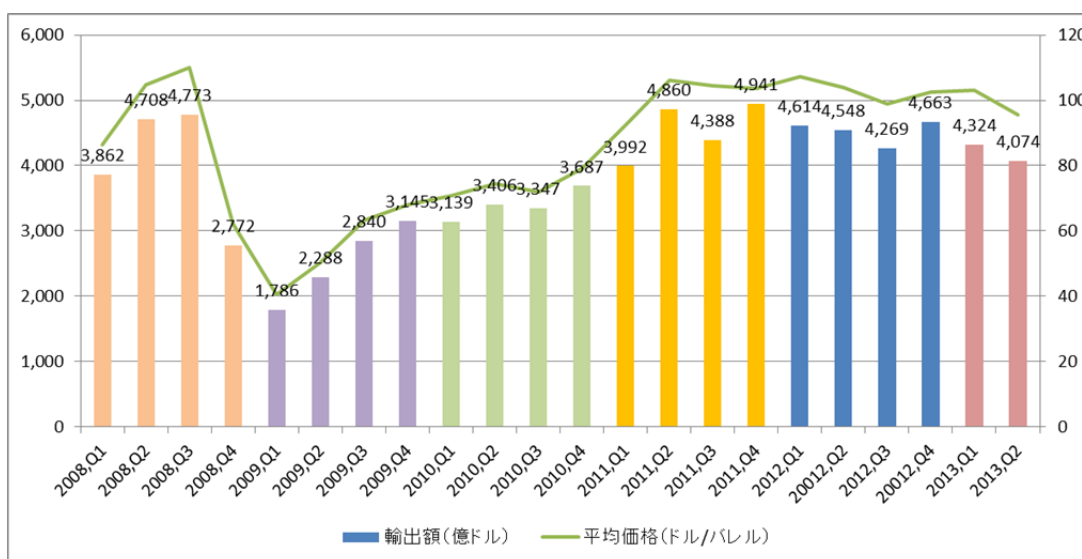
2013 年前期は、輸出量と価格が両方とも前年同期の水準を下回った。これにより前年同期比輸出額が 9.3% 減少した。

図表 7 : 原油輸出の推移

	輸出額 (億ドル)	輸出量 (百万トン)	価格 (ドル/バレル)
2009前半	4,074	122.9	45.3
2010前半	6,546	123.4	72.6
2011前半	8,852	121.7	99.4
2012前半	9,161	118.7	105.6
2013前半	8,399	115.8	99.3
2013前年同期比	91.7%	97.6%	94.0%

\* 資料 : ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成

図表 8 : 原油輸出額・平均価格の推移

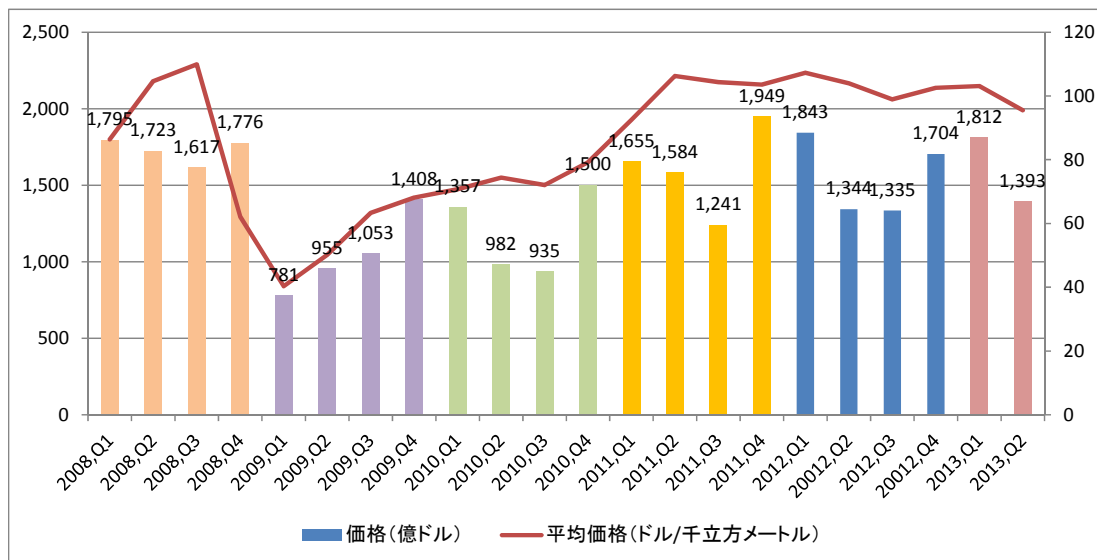


\* 資料 : ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成

#### (4) 天然ガス輸出の推移

一方、天然ガスは昨年並みの輸出額を保っている。

図表 9：天然ガス輸出額・平均価格の推移



\* 資料：ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成

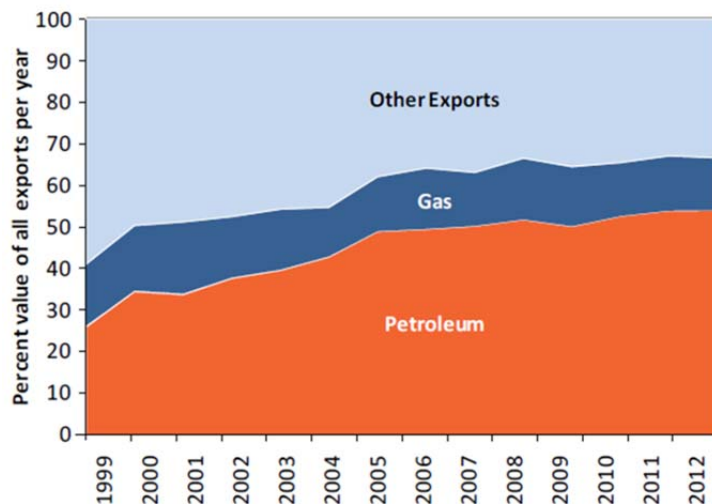
#### 4. 天然資源に対する依存の状況

ここでもう少しロシア経済の天然資源に対する依存状況を見てみる。

##### (1) 輸出に占める天然資源の割合

原油及び天然ガスの輸出が輸出に占める割合は年々増加し、ロシアの輸出における天然資源への依存が高まっている。

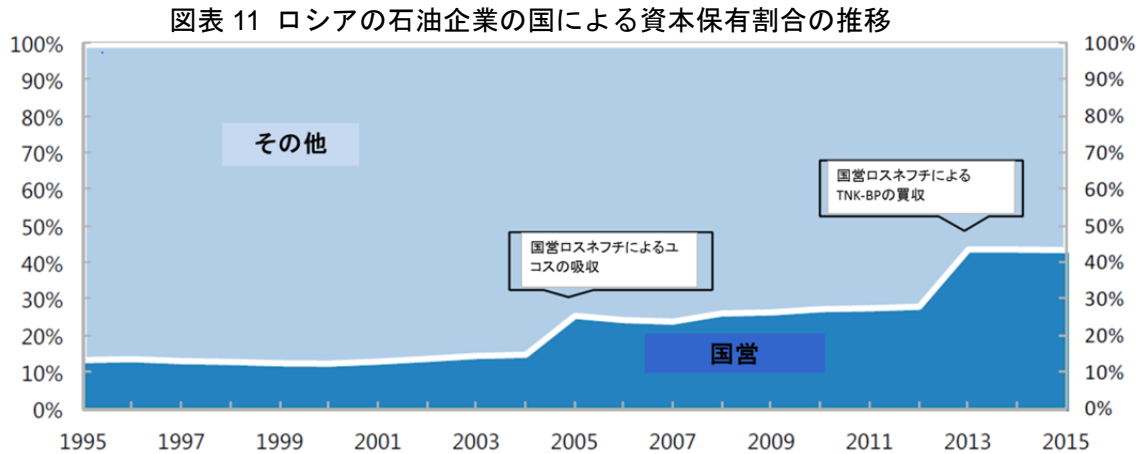
図表 10 ロシアの輸出内訳推移



\* 資料：United Nations, Comtrade, retrieved September 25, 2013

## (2) 国営企業の占有率

IMF のレポートによれば、国営ロスネフチ社による民間企業の吸収や買収などにより、ロシアの石油会社に対する国の資本保有率は年々増加している。

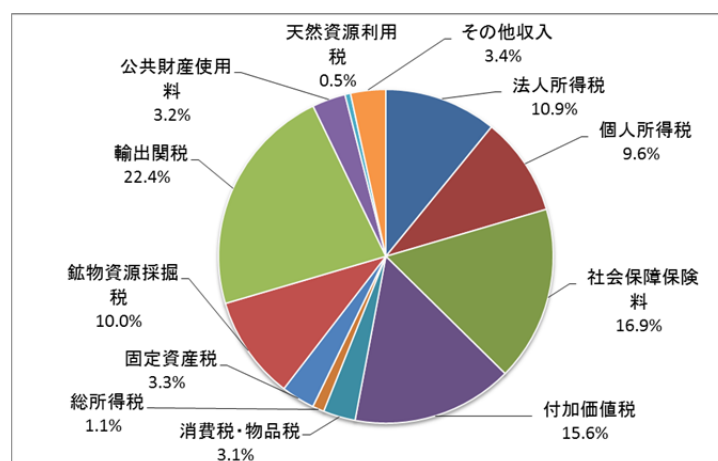


\* 資料 : IMF Country Report No. 13/310 2013 October

## (3) 歳入において大きな割合を占める輸出関税

ロシアでは、石油、天然ガス、及びその他の石油製品の輸出に対して輸出関税の課税が行われている。現在、石油に対しては、ウラル原油価格を基準とした累積税率 (0~65%)、天然ガスに対しては 30%前後の税率が適用されている。輸出関税額は国家歳入の約 4 分の 1 を占めており、石油、天然ガス、及びその他の石油製品の輸出動向は、ロシアの歳入に大きな影響を与えている。

図表 12 : ロシア連邦 2011 年度収入内訳



\* 資料 : ロシア連邦統計局データベースを基に CIPPS で作成

## 5. コメント

ロシアの GDP は、サブプライム問題に始まった世界的な景気後退の影響を受けていったん落ち込んだものの、原油や天然ガスの生産量の増強による輸出量増加や価格の安定推移を背景に 2010 年以降毎年 3%~4%の成長率を保ってきた。財務状況についても歳入が歳出を上回る状況が続き、公務員給与の引き上げ、軍人などの年金支給額の引き上げ、軍備の強化など歳出の増加を伴う政府の政策の実現を可能としてきた。しかし、2012 年第 4 四半期からは、石油輸出の伸び悩みや固定資産投資の減少により、GDP 成長には陰りが見え始めている。

天然資源輸出に対する依存度は依然高い状況にあるが、景気回復の遅れにより欧州地域の石油や天然ガスに対する需要が増加しない状況下、今後原油や天然ガス価格の下落が起きた場合には、国の歳入、財政政策などに対して少なからぬ影響が及ぶことが予想される。

プーチン大統領は、そのようリスクに対応するために経済構造の多様化の推進を重視し、競争力のある先進産業の強化とインフラの構築、国営企業民営化の推進などを重点政策に掲げてきた。しかし、4. で述べた通り、ロシアの輸出における天然資源への依存度は高まる一方であり、また、ロシアの石油会社に対する国の資本保有率は減少するどころか年々増加しており民営化も後退している。経済成長率の低下が認識される現在、天然資源依存体質から脱却するために重点政策を着実に推し進めていくことが、今まで以上に重要となっている。

次ページの表に示すように、日本とロシアの貿易は、震災後に天然ガスの輸入が増加したことも有り輸出と輸入がほぼバランスしている。今後、ロシアにおける新たなインフラ整備や新産業増強の実施において、我が国の民間企業が参加できる事業も増えてくものと考えられ、日本企業がビジネスチャンスを見出せる可能性が見込まれる。

ロシアは、また、欧州地域以外の天然資源の輸出先の確保のために、日本も含むアジア地域を新たな市場として注目している。一方、中東地域のエネルギーに対する依存度が高い我が国にはエネルギー資源調達先の分散化が必要であり、その政策の一環として、ロシアからのエネルギー資源輸入増強を推進することも一策と考えられる。

双方の利害関係が一致している今、我が国とロシアの双方が歩み寄り、一層の経済関係強化を行っていくことが望まれる。

図表 13：ロシア連邦 2012 年 輸出・輸入相手国との取引実績

■ロシアの国別 輸出輸入(2012年)				
	輸出		輸入	
	2012 実績 (億ドル)	割合	2012 実績 (億ドル)	割合
ベラルーシー	24,422	4.7%	11,305	3.6%
カザフスタン	14,558	2.8%	7,870	2.5%
キルギス	1,634	0.3%	195	0.1%
タジキスタン	678	0.1%	67	0.0%
アゼルバイジャン	2,844	0.5%	564	0.2%
アルメニア	916	0.2%	301	0.1%
モルドバ	1,609	0.3%	476	0.2%
トルクメニスタン	1,251	0.2%	183	0.1%
ウクライナ	27,179	5.2%	17,967	5.7%
ウズベキスタン	2,325	0.4%	1,390	0.4%
その他	937	0.2%	3,190	1.0%
<b>CIS(独立国家共同体諸国)合計</b>	<b>78,353</b>	<b>14.9%</b>	<b>43,508</b>	<b>13.8%</b>
オーストリア	1,511	0.3%	3,390	1.1%
ベルギー	6,799	1.3%	4,490	1.4%
ブルガリア	4,344	0.8%	695	0.2%
ハンガリー	6,622	1.3%	3,100	1.0%
ドイツ	35,593	6.8%	38,275	12.1%
ギリシャ	5,946	1.1%	630	0.2%
デンマーク	1,873	0.4%	2,043	0.6%
アイルランド	281	0.1%	1,366	0.4%
スペイン	5,721	1.1%	4,908	1.6%
イタリア	32,428	6.2%	13,413	4.2%
キプロス	2,067	0.4%	33	0.0%
オランダ	76,763	14.6%	5,977	1.9%
ポーランド	19,878	3.8%	7,472	2.4%
ルーマニア	1,877	0.4%	1,733	0.5%
スロベニア	6,165	1.2%	3,712	1.2%
英国	15,029	2.9%	8,191	2.6%
フィンランド	12,009	2.3%	5,001	1.6%
フランス	10,527	2.0%	13,770	4.4%
チェコ	5,235	1.0%	5,344	1.7%
スウェーデン	6,174	1.2%	3,940	1.2%
オーストラリア	107	0.0%	900	0.3%
アルジェリア	2,782	0.5%	4	0.0%
アルゼンチン	307	0.1%	1,264	0.4%
アフガニスタン	938	0.2%	11	0.0%
ブラジル	2,305	0.4%	3,354	1.1%
ベトナム	1,389	0.3%	2,272	0.7%
香港	1,411	0.3%	89	0.0%
ジョージア	399	0.1%	40	0.0%
エジプト	3,212	0.6%	342	0.1%
イスラエル	1,624	0.3%	1,281	0.4%
インド	8,002	1.5%	3,038	1.0%
イラン	1,902	0.4%	427	0.1%
カナダ	345	0.1%	2,473	0.8%
中国	35,720	6.8%	51,789	16.4%
北朝鮮	65	0.0%	11	0.0%
キューバ	170	0.0%	50	0.0%
モロッコ	1,307	0.2%	541	0.2%
メキシコ	493	0.1%	1,094	0.3%
モンゴル	1,851	0.4%	64	0.0%
スイス	10,881	2.1%	0	0.0%
ナイジェリア	198	0.0%	25	0.0%
ニュージーランド	9	0.0%	212	0.1%
ノルウェー	906	0.2%	1,791	0.6%
アラブ首長国連邦	1,225	0.2%	262	0.1%
パキスタン	210	0.0%	332	0.1%
パナマ	28	0.0%	4	0.0%
韓国	13,894	2.6%	10,986	3.5%
シンガポール	1,590	0.3%	414	0.1%
シリア	626	0.1%	31	0.0%
米国	12,964	2.5%	15,317	4.8%
タイ	1,412	0.3%	1,969	0.6%
台湾	3,330	0.6%	2,008	0.6%
トルコ	27,413	5.2%	6,804	2.2%
<b>★日本</b>	<b>15,571</b>	<b>3.0%</b>	<b>15,650</b>	<b>5.0%</b>
その他	34,784	6.6%	20,146	6.4%
<b>CIS以外の諸国合計</b>	<b>446,212</b>	<b>85.1%</b>	<b>272,479</b>	<b>86.2%</b>
<b>総合計</b>	<b>524,565</b>	<b>100.0%</b>	<b>315,986</b>	<b>100.0%</b>

\* 資料：ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成